

LEO

箏 RECITAL 2023

GRID ON//GRID OFF

2023.08.27 sun

— 浜離宮朝日ホール —

Open 16:30 Start 17:00 全席指定 ¥5,000(税込)

出演

LEO (箏)

木村 麻耶 (箏)

山澤 慧 (チェロ)

網守 将平 (シンセサイザー)

有馬 純寿 (エレクトロニクス)

Program

スティーヴ・ライヒ: Nagoya Marimbas

マックス・リヒター: Path Solo

網守 将平: Perpetuum Mobile Phunk

坂東 祐大: もっと上手にステップが踏めますように

坂本 龍一 (網守 将平 編): Andata

吉松 隆: すばるのセツ

今野 玲央: 松風

ほか

※曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

あらゆるGRID^枠を超えて切り開く、新たな箏の可能性
気鋭のクリエイターたちと共に生み出す一日だけのステージ

和楽器界の俊英LEO

一般発売

2023.
04.09 sun
10:00~

◆ ローソンチケット

※PC/スマートフォン共通【Lコード:36500】
ローソン・ミニストップ店内端末「Loppi」にて一般発売日以降直接購入可能
<https://l-tike.com/leo2023/>

◆ MITT TICKET

03-6265-3201 (平日12:00~17:00)

プレイガイド

◆ イープラス

※PC/スマートフォン共通
ファミリーマート店内端末にて一般発売日以降直接購入可能
<https://eplus.jp/leo2023/>

◆ 朝日ホール・チケットセンター

03-3267-9990 (オペレーター対応 日・祝除く 10:00~18:00)

朝日ホール・チケットセンター 検索

※就学前のお子様のご入場をお断りしております。託児サービスをご利用ください。(イベント託児マザーズ) 0120-788-222 (要予約)

※車椅子席をご希望のお客様は、必ず公演の2営業日前までにMITT TICKETにてお電話でチケットをご購入いただきますようお願い申し上げます。お連れ様をご鑑賞される場合もチケットは必要です。

(お問い合わせ) Mitt: TEL.03-6265-3201 (平日12:00~17:00)

主催: 朝日新聞社 / 浜離宮朝日ホール / 日本コロムビア

今、多方面から注目を集める箏奏者 LEO。藤倉大の箏協奏曲の初演や、箏奏者としては異例のSUMMER SONIC、ブルーノート東京への出演を果たし、その高い実力と、ジャンルを超えて挑戦する姿が注目を集めている。

本公演では箏らしい音楽 (=GRID ON)と、箏からは想像がつかない音楽 (=GRID OFF)、両方の世界観を行き来し、箏の新たな可能性を追求。吉松隆の箏曲「すばるの七ツ」から、坂東祐大、網守将平ら、新世代クリエイターによる作品の初演、ライヒやリヒターまで、現在進行形の音楽を箏で表現する。ゲストに木村麻耶(箏)、山澤慧(チェロ)、有馬純寿(エレクトロニクス)ら現代音楽の名手を迎え、さらには坂本龍一の名曲「Andata」を網守将平のシンセサイザーとの共演で披露。一日だけの特別なステージを披露する。

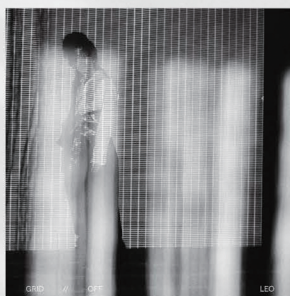


LEO (箏/koto)

1998年横浜生まれ。本名・今野玲央。9歳より箏を始める。カーティス・パターソン、沢井一恵の両氏に師事。16歳でくまもと全国邦楽コンクール史上最年少最優秀賞・文部科学大臣賞受賞。一躍脚光を浴び、2017年19歳でメジャーデビュー。同年、東京藝術大学に入学。

MBS「情熱大陸」、テレビ朝日「題名のない音楽会」「徹子の部屋」など多くのメディアに出演。セバスティアン・ヴァイグレ、井上道義、秋山和慶、沖澤のどかをはじめとした指揮者や、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共演しソリストを務める。2021年、藤倉大委嘱新作の箏協奏曲を鈴木優人指揮・読売日本交響楽団との共演で世界初演。2022年、箏奏者として初めてブルーノート東京でライブを開催。また、同年 SUMMER SONIC に異例の出演を果たしたことで話題を集めた。出光音楽賞、神奈川文化賞未来賞受賞。2023年3月に DENON レーベルより最新アルバム「GRID//OFF」をリリースした。

伝統を受け継ぎながら、箏の新たな魅力を追求する若き実力者として注目と期待が寄せられている。



Now on Sale

LEO(箏) 「GRID//OFF」

¥3,300 (tax in)
COCQ-85603 UHQCD DENON

木村 麻耶 (箏)



3歳より橋本はるみ氏に師事、桐朋学園芸術短期大学在学中に野坂恵子氏に師事。第17回賢順記念くまもと全国箏曲祭にて賢順賞受賞等、幼少より優勝、入賞多数。これまでに北海道新聞社賞、釧路奨励教育長賞、平成24年度別海町文化奨励賞、第14回佐治敬三賞を受賞。海外からの招請も多くコンサートやレクチャー、審査員等を務め新作初演も数多く手掛ける。伊福部昭作品集、この音とまれ!のCD出演等にも多数参加している。池袋東京芸術劇場主催Born Creative Festival 2020・2021出演。

網守 将平 (シンセサイザー)



東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。学生時代よりクラシック・現代音楽の作曲家として活動を開始し、室内楽からオーケストラまで多くの作品を発表。近年はポップミュージックやサウンドアートの領域を含め横断的な活動を展開、3枚のオリジナルアルバムを発表している。ソロ活動の他には大貫妙子、Daokoなど多くのアーティスト楽曲の作編曲を担当し、また映画『百花』をはじめ多数のテレビドラマやCMの音楽も手掛ける。

山澤 慧 (チェロ)



古典作品の演奏と並行して現代音楽の演奏や作曲家への委嘱を積極的に行っている。2015年より、20世紀以降に書かれた無伴奏チェロ曲のみを集めたリサイタル「マインドツリー」を毎年開催。2021年には新シリーズ「邦人作曲家による作品集」をスタートさせた。近年はダンサーとの共演など、異分野との協働にも意欲的に取り組んでいる。東京芸術大学附属高校、同大学を経て、同大学院修了。藝大フィルハーモニア管弦楽団首席チェロ奏者、千葉交響楽団契約首席チェロ奏者。

有馬 純寿 (エレクトロニクス)



エレクトロニクスやコンピュータを用いた音響表現を中心に現代音楽、即興演奏などジャンルを横断する活動を展開、多くの演奏会で音響技術や演奏を手がけ高い評価を得ている。第63回芸術選奨文部科学大臣新人賞芸術振興部門受賞。また東京現音計画、東京シンフォニエッタ、秋吉台国際芸術村「ベルセポリス」ソリストとして佐治敬三賞受賞。現在、東京音楽大学准教授、帝塚山学院大学、京都市立芸術大学非常勤講師。